



# ～音への関心～

子どもたちは、様々な遊びを通して音に触れています。例えば、玩具と玩具を打ち付けてみたり、高い場所から物を落としてみたり、絨毯を指先で引っ掻いてみたりして、出てくる音を楽しむ姿があります。また、食事中に食器をカンカンと叩いて音を出したり、寝ている時に、横にいる保護者の顔をパンパンと叩いたりする姿が見られることもあります。

## ♪こんな動きが見られたら、こんな才能が開花するチャンス！

- ・自分の体を自分の意思で動かせることが嬉しい！
- ・自分のしたことで意外な音が出たり、保護者が反応したり、それってものすごく刺激になる！



## ♪遊びを通してたくさん経験していくとどんないいことがあるか

- ・握力、腕力、手首、指の筋力などを鍛えることになり、のちに細かい動きなどができるように脳の神経が強化されます。



しかし・・・ご飯の時に遊んだり、人の顔を叩いたりすることは避けたいですね。

## ♪それならば、『やってもいいもの』を『やってもいい時間』にたっぷりやってみましょう！

- ・この遊びは、音を鳴らしてリズム感を感じるのが楽しい！
- ・手首や腕を使って自分で操作するのが楽しい！
- ・力加減で変化がおきて面白い！と、ワクワクした気持ちで能力が伸びていくのです！



## ♪このように子どものする行動には全て、理由があるので

これを知るだけで、ただ楽しんでいるだけじゃなかった…。と、見る目が変わりませんか？

## ♪リズム楽器～いろんな音が楽しめる手作り楽器～

<用意する物> 段ボール 23～30 cm ・スズランテープ ・ボタン (飾り用)

◎太鼓…空き缶のふた ◎ギロ…牛乳パック ・竹ひご ・貝殻

◎マラカス…プリンカップ 2個、ストロー、輪ゴム

<使う物> セロハンテープ、養生テープ、はさみ、カッター、ボンド

<作り方> ①それぞれの楽器のパーツを作る

- ・ギロ…牛乳パックの口をセロハンテープで閉じ、側面に、切った竹ひごをセロハンテープで貼る。
- ・マラカス…切ったストローをプリンカップの中に入れ、セロハンテープで止める。

二重にした輪ゴムを2つつなげ、マラカスにつけ、セロハンテープで固定する。

②楽器をつけるボードをつくる

段ボールの長辺に穴を開け、スズランテープを通し、首から下げられるようにする。

段ボールの右上に穴を開け、マラカスの輪ゴムを通す。裏面で堅結びをし、養生テープで止める。

空き缶、ギロ、貝殻をボンドで付いたら完成！



<遊び方> 貝殻やギロをギコギコしたり、空き缶を叩いたり、マラカスをひっぱったりした音を出す。

## ♪おすすめの絵本

もこ もこ もこ

作：谷川 俊太郎 絵：元永 定正 出版社：文研



じゃあ じゃあ びりびり

作：まついのりこ 出版社：偕



はじめは「しーん」と静か。やがて、「もこ」。地面の一部が盛り上がり。ページをめくるごとに次々に起こる驚きの展開。それらはどんどん大きく膨れ上がり……そして最後には！？

あかちゃんの「最初の本」として大人気！

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」「いぬ わん わん わん わん」「みず じゃあ じゃあ じゃあ」真っ赤でコンパクトなサイズに、たくさんの“音”が詰まっています。